



平成 22 年 12 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 22 年 4 月 30 日

会 社 名 ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
 コード番号 2189
 本社所在地 東京都渋谷区本町一丁目4番16号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役
 氏 名 告野 充

グリーンシート銘柄
 本社所在都道府県 東京都

T E L (03)5365-3201

1. 平成 22 年 12 月期第 1 四半期の業績（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

- （注）1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 千円未満は切り捨てて表示しております。
 3. 当社は前期より初めて四半期決算を実施いたしましたので、21 年第 1 四半期の前年同期の業績についての記載及び対前年同四半期増減率の記載は省略しております。

（1）経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
22 年第 1 四半期	2,051	(743.0)	△12,915	(—)	△13,418	(—)
21 年第 1 四半期	243	(—)	△33,507	(—)	△34,281	(—)

	当期純利益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
22 年第 1 四半期	△13,492	(—)	△14 55	— —	△5.0	△4.2	△653.9
21 年第 1 四半期	△36,735	(—)	△49 82	— —	△21.1	△14.4	—

- （注）1. 期中平均株式数 22 年第 1 四半期 927,283 株 21 年第 1 四半期 737,306 株
 2. 会計処理の方法の変更 有 ・ 無
 3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式は存在しますが、1 株当たり当期純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
22 年第 1 四半期	315,997	271,401	85.9	288 82
21 年第 1 四半期	250,832	183,167	73.0	232 51

- （注）期末発行済株式数 22 年第 1 四半期 939,700 株 21 年第 1 四半期 787,800 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
22 年第 1 四半期	△41,599	△15,537	35,300	31,515
21 年第 1 四半期	△33,926	△17,579	54,100	41,887

2. 平成 22 年 12 月期の業績予想（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」及び「トラスト事業」であります。現時点においてホテルの建設及び営業をしておりません。そのため、これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

第 5 期 第 1 四半期報告書

(平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)

会社名 (定款上の商号)	ザ・レジェンド・ホテルズ&トラスト株式会社
英 文 名	The Legend Hotels & Trust , inc.
コ ー ド 番 号	2189
代表者の役職氏名	代表取締役 嶋田 秀子
本店の所在の場所	東京都渋谷区本町一丁目 4 番 16 号
電 話 番 号	0 3 - 5 3 6 5 - 3 2 0 1
連 絡 者	取締役 告野 充

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 5 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日	自 平成 21 年 1 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日
		金 額	金 額	金 額
I 売 上 高		2,051	2,051	243
II 売 上 原 価		—	—	—
売 上 総 利 益		2,051	2,051	243
III 販売費及び一般管理費		14,967	14,967	33,750
営 業 損 失		12,915	12,915	33,507
IV 営 業 外 収 益		7	7	1,368
V 営 業 外 費 用		510	510	2,142
経 常 損 失		13,418	13,418	34,281
VI 特 別 損 失		—	—	2,219
税引前四半期(当期)純損失		13,418	13,418	36,500
法人税、住民税及び事業税		74	74	234
四 半 期 (当 期) 純 損 失		13,492	13,492	36,735

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科目	期別	第5期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日	自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日	自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日
期中平均株式数		927,283株	927,283株	737,306株
1株当たり四半期(当期)純損失		14円55銭	14円55銭	49円82銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式は存在しますが、1株当たり四半期(当期)純損失を計上していることに加え、当社株式は非上場であり、期中平均株価の算定が困難なため、記載しておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期別	第5期 第1四半期	当期累計	前年同期累計
		自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日	自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日	自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日
ホテル開発・運営事業		—	—	—
トラスト事業		—	—	—
コンサルティングサービス 事業		2,051	2,051	243
コンテンツサービス事業		—	—	—
合計		2,051	2,051	243

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第 4 期 末 平成21年12月31日現在		第 5 期 第 1 四 半 期 平成 22 年 3 月 31 日 現 在	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%
I 流動資産				
1. 現金及び預金	53,353		31,515	
2. 売掛金	496		492	
3. 仕掛販売用不動産	117,017		120,002	
4. 貯蔵品	1,410		1,395	
5. 前払費用	281		288	
6. その他	143		—	
流動資産合計	172,702	54.1	153,694	48.6
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 工具器具及び備品	182		161	
(2) 建設仮勘定	135,492		151,030	
有形固定資産合計	135,674	42.5	151,191	47.9
2. 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金	10,880		10,880	
(2) 長期前払費用	46		231	
投資その他の資産合計	10,926	3.4	11,111	3.5
固定資産合計	146,601	45.9	162,302	51.4
資産合計	319,304	100.0	315,997	100.0

(単位：千円)

科 目	第 4 期 末		第 5 期 第 1 四 半 期	
	平成21年12月31日現在		平成 22 年 3 月 31 日 現在	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%
I 流動負債				
1. 買掛金	25,581		532	
2. 短期借入金	—		20,000	
3. 未払金	13,563		13,677	
4. 未払費用	1,800		1,800	
5. 未払法人税等	1,152		331	
6. 前受金	6,300		7,301	
7. 預り金	1,313		953	
流動負債合計	49,710	15.6	44,596	14.1
負債合計	49,710	15.6	44,596	14.1
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金	297,850	93.3	305,500	96.7
2. 資本剰余金				
資本準備金	196,050		203,700	
資本剰余金合計	196,050	61.4	203,700	64.5
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△224,306		△237,798	
利益剰余金合計	△224,306	△70.3	△237,798	△75.3
株主資本合計	269,593	84.4	271,401	85.9
純資産合計	269,593	84.4	271,401	85.9
負債純資産合計	319,304	100.0	315,997	100.0

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	第 4 期 末		第 5 期 第 1 四 半 期	
	平成21年12月31日現在		平成 22 年 3 月 31 日 現在	
発 行 済 株 式 数	924,400 株		939,700 株	
1 株 当 た り 純 資 産 額	291 円 64 銭		288 円 82 銭	

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成 22 年 1 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

項目	株主資本			株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金		
平成 21 年 12 月 31 日残高	297,850	196,050	△224,306	269,593	269,593
第 1 四半期中の変動額					
新株の発行	7,650	7,650	—	15,300	15,300
四半期純損失（△）	—	—	△13,492	△13,492	△13,492
第 1 四半期中の変動額合計	7,650	7,650	△13,492	1,807	1,807
平成 22 年 3 月 31 日残高	305,500	203,700	△237,798	271,401	271,401

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「有価証券報告書 第 5 経理の状況 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に該当する金額を計上しております。
2. 法人税、住民税及び事業税の計上基準 法人税、住民税及び事業税は、年間の見積り法人税等の 4 分の 1 に相当する金額を計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第5期第1四半期の業績の概況（平成22年1月1日から平成22年3月31日）

当第1四半期におけるわが国経済は、着実に持ち直してまいりましたが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にあります。輸出は緩やかに増加し、生産は持ち直し、企業収益は改善し、設備投資は下げ止まってまいりました。また、雇用情勢は依然として厳しいものの持ち直しの動きがみられ、個人消費も持ち直してまいりました。先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収益の改善が続くなかで、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されます。

ホテル業界におきましても、伸び悩んでおりました国内宿泊需要並びに外国人宿泊需要も底を打ち持ち直してきております。

このような状況のもと、当社は第1号ホテル建物の建設に向けて、地元・行政との調整等を行うことにより平成22年3月9日に建築許可を取得いたしました。資金面では、2回の公募増資を実施して資金調達を行ってまいりました。

一方で、ホテル建物販売に向けた当社の広告宣伝及びイメージアップの一環として講演活動、マスコミ対応等を全国レベルで行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高2,051千円（前年同期743.0%増）、営業損失12,915千円（前年同期は33,507千円の営業損失）、経常損失13,418千円（前年同期は34,281千円の経常損失）、四半期純損失13,492千円（前年同期は36,735千円の四半期純損失）となりました。

III 第5期通期の売上高及び利益の予測について

当社の主要事業は「ホテル開発・運営事業」及び「トラスト事業」ですが、現時点においてホテルの建設及び営業をしておりません。そのため、これらのホテルが軌道に乗り、継続的な事業として確立するまでは不確実性が存在するため、当社では業績予想の開示は行っておりません。

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第5期第1四半期 自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日
	現金及び預金の増減額	
現金及び預金の四半期首残高		53,353
現金及び預金の四半期末残高		31,515

(主な増減理由)

第1四半期の現金及び預金の主な減少理由は、税引前当期純損失の計上による減少13,418千円、たな卸資産の増加による減少額2,969千円、仕入債務の減少額25,049千円、固定資産の取得による減少15,537千円、短期借入金の増加額20,000千円及び公募増資による新株式発行による増加15,300千円等によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第5期第1四半期 自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日
	短期借入金の増減額	
短期借入金の四半期首残高		—
短期借入金の四半期末残高		20,000

(主な増減理由)

第1四半期の短期借入金の増加理由は、運転資金の調達によるものであります。

V その他

(1) 募集による新株式の発行

平成22年1月15日開催の当社取締役会において決議されました、平成22年2月26日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- ① 発行新株式数 普通株式7,400株
- ② 払込金額 1株につき普通株式 金1,000円
- ③ 払込期日 平成22年2月26日（金）
- ④ 資本増加日 平成22年2月26日（金）
- ⑤ 調達資金額 7,400,000円
- ⑥ 調達資金の使途 第1号ホテルの建設用地の購入代金の一部等に充当いたしました。

(2) 募集による新株式の発行

平成22年3月4日開催の当社取締役会において決議されました、平成22年3月31日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- ① 発行新株式数 普通株式7,900株
- ② 払込金額 1株につき普通株式 金1,000円
- ③ 払込期日 平成22年3月31日（水）
- ④ 資本増加日 平成22年3月31日（水）
- ⑤ 調達資金額 7,900,000円
- ⑥ 調達資金の使途 第1号ホテルの建設用地の購入代金の一部等に充当いたしました。

(3) 募集による新株式の発行

平成22年4月6日開催の当社取締役会において決議されました、平成22年4月28日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記の通り払込みが完了いたしました。

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ① 発行新株式数 | 普通株式12,100株 |
| ② 払込金額 | 1株につき普通株式 金1,000円 |
| ③ 払込期日 | 平成22年4月28日（水） |
| ④ 資本増加日 | 平成22年4月28日（水） |
| ⑤ 調達資金額 | 12,100,000円 |
| ⑥ 調達資金の使途 | 第1号ホテルの建築設計費用の支払等に充当いたしました。 |